

令和8年度 大阪府ハートフル企業顕彰 応募票

応募票1 企業に関する基本情報

ふりがな		
企業名		
代表者職・氏名		
設立年月日	年 月 日	
所在地	〒	
(本社所在地)	(※府外に本社がある企業のみ)	
特例子会社	☐ 特例子会社である	(親会社:)
常用雇用労働者数	人(令和8年6月1日現在)	
業種及び事業内容	業種:	事業内容:
府内事業所の障がい者の主な業務	業務内容	従事している人数 (重複回答可能) 複数の業務で従事している方がいる場合は、重複してもいいので、従事しているそれぞれの業務に人数を記載してください
	(例)清掃業務(社内と工場内の清掃)	2人
	(例)総務・事務の補助	4人
府内の事業所で雇用している障がい者の実人数 (実際に雇用している人数を記載してください。)	人	

応募票2 障がい者の雇用・実習の受入れ状況等、事業所に関する基本情報

以下の項目にご記入ください。

□欄がある場合は、該当するものにチェックを付けるか、塗りつぶしてください。

1 障がい者の雇用状況(令和8年6月1日現在)

【提出書類】

常用雇用労働者数	提出書類
40.0人以上の事業主	☐ 公共職業安定所長に提出している令和8年6月1日現在の障害者雇用状況報告書(写し)
40.0人未満の事業主	☐ (府指定の様式)令和8年6月1日現在の障がい者雇用状況報告書

企業全体の 常用雇用労働者数	()人 (参考:大阪府内の事務所・事業所に在職する常用雇用労働者数()人)
-------------------	--

※提出書類である「障害者雇用状況報告書」の「(二)法定雇用障害者の算定の基礎」の数字を記入してください。

企業全体の 常用雇用障がい者数	()人 (参考:大阪府内の事務所・事業所に在職する常用雇用障がい者数()人)
--------------------	---

※提出書類である「**障害者雇用状況報告書**」の[⑫計]の数値を記入してください。

(大阪府の障がい者雇用状況報告書(常用雇用労働者 40.0 人未満の事業主用)の場合は[④計]の欄)

2 障がい者の職場定着状況(令和8年6月1日現在)

障がい者の平均雇用継続期間	
ア 府内事務所・事業所に在職する常用雇用障がい者数 (令和8年6月1日現在)	人
イ アの者の雇用継続日数の累計	日
ウ アの者の平均雇用継続期間(イ÷ア÷30)＜小数点以下切捨て＞	月

※「府内事務所・事業所に在職する」とは、府内事務所・事業所の労働者名簿に登録されていることをいいます。

府外に派遣されている・府外の自宅等でテレワーク勤務をしている等であっても、府内事務所・事業所の労働者名簿に登録されている場合は含みます。

3 職場実習・見学の受入れ状況(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

項目	実績
① 障がいのある人の職場実習の受入れ人数	人
② 府内の障がい者の就労施設等・支援学校等の職員及び企業の人事担当者等の見学・実習・研修の受入れ人数	人

※**府内の事務所・事業所における実績を記載**してください。

※①の「障がいのある人」に「障がいのある生徒・学生」は**含めません**。

障がいのある生徒・学生については、次の「4 府内の支援学校等への貢献状況」で回答してください。

また、①の「実習」とはハローワークや障害者就業・生活支援センター等支援機関から受け入れた実習のことです。

※②の「障がい者の就労施設等」とは、障がい者支援施設、地域活動支援センター、障がい福祉サービス事業を行う施設、小規模作業所、特例子会社、重度障がい者多数雇用事業所等をいいます。

また、②の「支援学校等」とは、支援学校、高等支援学校、知的障がい生徒自立支援コースや共生推進教室のある高等学校に加え、障がいのある生徒・学生の進路支援に取り組む大学等の高等教育機関をいう。

4 府内の支援学校等への貢献状況(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

項目	実績
① 支援学校等の職場実習の受入れ校数	校
② 障がいのある生徒・学生の職場実習の受入れ人数	人
③ 障がいのある生徒・学生の受入れ延べ日数	日
④ 職場実習受入れの広報活動、児童・生徒・学生や保護者への進路学習、出前授業等のための支援学校等への訪問	☐ 有 ☐ 無
⑤ 校内作業実習・校内学習活動に係る助言や材料、備品等の提供	☐ 有 ☐ 無

※「支援学校等」とは、支援学校、高等支援学校、知的障がい生徒自立支援コースや共生推進教室のある高等学校に加え、障がいのある生徒・学生の進路支援に取り組む大学等の高等教育機関をいう。

5 地域への貢献状況(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

項目	実績
府内の障がい者の就労施設等への発注・物品購入額	円

※「障がい者の就労施設等」とは、障がい者支援施設、地域活動支援センター、障がい福祉サービス事業を行う施設、小規模作業所、特例子会社、重度障がい者多数雇用事業所等をいいます。

※地域への貢献状況を評価する観点から、**親会社やグループ関連会社等から、その関連の特例子会社等への発注・物品購入などは含みません。**

6 府施策への貢献

項目	実績
① 大阪府精神障がい者社会生活適応訓練事業の協力事業所登録	☐ 登録済 ☐ 申請中(令和8年 月 日 時点) ☐ 未登録
② 大阪府障がい者サポートカンパニー制度への登録	☐ 登録済(□優良登録、□一般登録) ☐ 申請中(□優良登録、□一般登録) (令和8年 月 日 時点) ☐ 未登録
③ 「大阪府」及び「府内市町村」が発行する広報誌等への『障がい者雇用に関する取り組み』の掲載、もしくは「大阪府」及び「府内市町村主催」の『障がい者雇用に関する研修会』等への講師派遣	広報誌等掲載 ☐ 有 ☐ 無 ※冊子に限らず、電子媒体や自治体ホームページ等も含みます。 (冊子等名称:) (発行者:) (掲載時期:)
(令和7年4月1日～令和8年3月31日の期間内)	講師派遣 ☐ 有 ☐ 無 (研修会名称:) (主催者:) (実施日:)

※「①大阪府精神障がい者社会生活適応訓練事業の協力事業所登録」及び「②大阪府障がい者サポートカンパニー制度への登録」の実績欄のうち、「申請中」とは、**令和8年11月16日(月)17時(応募受付締切)**までに登録申請書を提出した場合に限ります。

ただし、加点については、申請後登録を受けた場合に限りです。

申請方法等については下記リンク先をご確認ください。

参考①:<https://www.pref.osaka.lg.jp/keikakusuishin/syuuroushien/syateki.html>

参考②:<https://www.pref.osaka.lg.jp/keikakusuishin/syuuroushien/syougaisyasapo-tokan.html>

7 経営基盤の安定性関係

項目	提出書類
直近3事業年度の財務諸表の 添付の有無(提出は任意)	☐ 有 ☐ 無

応募票3の記入について

- ◇「応募票3」は、表彰区分に応じて、様式が3つに分かれています。
応募する表彰区分に応じて、様式を選択し、必要事項をご記入ください。
(※表彰区分により内容が異なるため、選択誤りのないようにご注意ください。)
- ◇複数の区分に応募する場合は、「応募票3」のみ、表彰区分ごとに作成してください。(「応募票1」と「応募票2」は1組で結構です。)
- ◇本表彰は、「障害者の雇用の促進等に関する法律第5条」の「事業主の責務」を踏まえ、雇用した障がい者の能力評価、職務選定、業務指示、雇用管理、職業能力の開発や職場定着の取り組み、募集、採用、職場実習などについて、自らの意思で主体的に判断して取り組んでいる事業主を評価して行うものです。
- ◇枠内に収まらない場合は、枠を大きくする等でご対応ください。
(ただし、総文字数 2500 字程度とします。)
- ◇審査は、応募票に記載された内容をもとに行います。審査を希望する取り組み内容は、必ず応募票に記載してください。添付資料は、応募票の記載内容を補足するための参考資料として取り扱います。
- 添付資料を提出する場合は、応募票のどの項目を補足する資料であるか、また、資料のどの部分が該当するかがひと目で分かるよう、次の方法を参考に明示してください。
 - ・応募票の項目番号または項目名を、添付資料に記載する
 - ・該当ページに付箋を貼る
 - ・該当箇所にマーカー、下線、囲みなどで印を付ける
 - ・電子データの場合は、ハイライト、囲み、コメントなどで該当箇所を示す
 - 取り組み内容を補足する資料、図、写真等は、片面で合計 16 ページまでとします。
 - 冊子やパンフレット等のうち、取り組み内容を補足する資料として提出するものは、冊子全体ではなく、必要なページのみをコピーし、資料名、発行者等の出典を記載して提出してください。

応募票3-1 具体的な取組み状況（表彰区分:大賞）

審査は本応募票により行います。各項目について、具体的に記入してください。
（項目1～9の総文字数 2500 字程度とします）

■1 取組みの概要

貴社における障がい者雇用の取組みについて、その開始の時期、特徴、主な内容、成果を記入してください。（200 字程度）

・開始の時期

年 月(頃)から開始

・特徴、主な内容、成果など

--

■2 取組みの特徴・PR ポイント

貴社の取組みの中で、「これは他社にも参考にしてほしい」と考える取組みや工夫について記入してください。

--

■3 採用から定着・成長までの流れ

障がいのある方の採用から職場への定着までの取組み、能力開発・キャリア形成までの取組みについて記入してください。（例:採用方法の工夫、職務の創出・切り出し、本人の特性や希望に応じた配置、定着支援、能力開発）

--

■4 企業としての方針・推進体制・支援体制

障がい者雇用について、企業・組織としての方針を記入してください。

また、その方針に基づき、取組みを推進するための仕組みや支援体制等を記入してください。

(例:経営層の関与、社内方針への位置付け、担当者の配置、定期面談、相談窓口、評価制度、業務マニュアル、関係機関との連携)

■5 職務・職場環境における工夫

障がい特性、体調、本人の希望や能力に応じた職務の設定や職場環境の工夫点を記入してください。

(例:職務の創出・再設計、業務内容や勤務時間の調整、指示方法の工夫、作業手順の見える化、支援機器の活用)

■6 職場定着・成長・キャリア支援

本人が安心して働き続け、能力を高め、活躍の場を広げるための支援を記入してください。(例:定期面談、OJT、研修、資格取得支援、新しい業務や役割の付与、評価、昇給・昇格)

■7 取組みによる成果・変化

取組みを行った結果、障がいのある従業員本人、配属先や職場、会社全体にどのような成果や変化があったか、該当する内容を記入してください。可能な範囲で、取組み前後の違いが分かる事例や数値も記入してください。(例:雇用数・定着率の向上、勤続年数の伸長、担当業務の拡大、昇給・昇格、作業効率の向上、職場の理解促進)

■8 取組みの継続・社内外への広がり

取組みを継続するための仕組みと、社内外への広がりや地域社会への貢献について記入してください。（例：他部署・グループ企業への展開、学校・支援機関との連携、地域活動への参加）

■9 その他の PR 事項

上記以外に、特に PR したいことがあればご記入ください。

応募票3-2 具体的な取組み状況（表彰区分:チャレンジ応援賞）

審査は本応募票により行います。各項目について、具体的に記入してください。
（項目1～9の総文字数 2500 字程度とします）

■1 取組み概要

応募する取組みについて、取組みの開始の時期、取組みの内容と、特に工夫した点が分かるよう、200 字程度でまとめて記入してください。

・取組みの開始の時期

年 月(頃)から開始

・特徴、主な内容、成果など

--

■2 取組みを始めた背景・課題

取組みを始めたきっかけと、障がいのある従業員や職場が抱えていた課題を記入してください。

--

■3 具体的な取組み内容

課題の解決に向けて、社内の担当者や関係部署、支援機関などが、どのような取組みを行ったかを記入してください。

--

■4 新しい点・自社ならではの工夫

従来の方法から新しくした点や、自社の状況に合わせて工夫した点を記入してください。また、その工夫が障がいのある方の採用・定着・能力発揮などに、どう役立ったかを記入してください。

※全国初・業界初の取り組みである必要はありません。

■5 障がいのある従業員の意見と実施体制

取組みを進めるに当たり、障がいのある従業員の意見や希望をどのように確認し、取組みに反映しましたか。また、社内の役割分担や、支援機関などとの協力体制を教えてください。

■6 取組みによる成果・変化

取組みによって、障がいのある従業員や職場にどのような成果や変化がありましたか。

可能な範囲で、取組み前との違いが分かる事例や数値を教えてください。

成果がまだ十分に表れていない場合は、小さな変化や、今後の成果につながる兆しでも構いません。

■7 試行錯誤・改善

取組みを進める中で、困ったことや、うまくいかなかったことはありましたか。

また、それをどのように見直し、改善しましたか。

■8 継続・今後の広がり

取組みを継続するために、どのような仕組みを整えていますか。

また、対象者や対象部署の拡大、ほかの職場での活用など、今後の予定があれば教えてください。

■9 その他の PR 事項

上記以外に、特に PR したいことがあればご記入ください。

応募票3-3 具体的な取組み状況（表彰区分:教育貢献賞）

審査は本応募票により行います。各項目について、具体的に記入してください。
（項目1～9の総文字数 2500 字程度とします）

■1 取組み概要

障がいのある生徒・学生への職業教育に関する取組みについて、取組みの開始の時期、対象者、主な支援内容、特徴、成長・成果が分かるよう、200 字程度でまとめてください。

・取組みの開始の時期

年 月(頃)から開始

・対象者、主な支援内容、特徴、成長・成果など

■2 職業教育への支援内容

障がいのある生徒・学生に対して、どのような職場実習、職場体験、進路学習、出前授業、校内作業実習への支援などを行っていますか。

対象となる学校・学年、人数、実施期間・頻度、具体的な内容を教えてください。

■3 生徒・学生に応じた工夫

生徒・学生の障がい特性、得意・不得意、体調、希望などに応じて、どのような配慮や工夫を行っていますか。（例：作業内容や難易度の調整、指示方法の工夫、作業手順の見える化、目標の設定、休憩への配慮）

■4 学校・保護者・支援機関との連携

事前準備、実施中の支援、実施後の振り返りにおいて、学校、保護者、支援機関とどのように連携していますか。また、採用や職場定着、今後の進路に向けた連携があれば教えてください。

■5 教育的な工夫・特色

生徒・学生が働くことへの理解を深め、職業意識や職場で必要となる力を身につけられるよう、どのような工夫を行っていますか。

また、一般的な見学や作業体験にとどまらない、自社ならではの特色があれば教えてください。

(例:本人に応じた目標設定、段階的な作業体験、仕事の目的の説明、あいさつ・報告・相談の練習、社員との交流)

■6 振り返り・フィードバック

実習等の実施中や実施後に、生徒・学生の取組みをどのように振り返り、本人、学校、保護者等にフィードバックしていますか。

また、振り返りの結果を、次回の実習や支援内容の改善にどのように生かしていますか。

■7 生徒・学生の成長・成果

取組みを通じて、生徒・学生にどのような成長や変化が見られましたか。

可能な範囲で、具体的な事例や、本人・学校・保護者からの声を教えてください。

(例:作業能力の向上、自信の獲得、コミュニケーションの変化、職業理解の深まり、進路選択や就職へのつながり)

■8 取組みの継続・広がり

取組みを継続するために、どのような体制や工夫を設けていますか。

また、受入人数や協力校の拡大、他部署・地域への展開、社内の意識変化などがあれば教えてください。

■9 その他の PR 事項

上記以外に、特に PR したいことがあればご記入ください。